久慈川

矢祭町立矢祭中学校だより

文責：校長　2018年11月16日（金）No.２７

キャリア教育　修明高校体験学習

【商業科：プログラミング実習】

【農業科：ブッセ作り実習】

１１月９日（金）に、２学年は福島県教育委員会が主催するキャリア体験の一環として、修明高校を訪問し高校の授業を体験しました。

商業科コースに参加した生徒は、パソコン上の猫を動かすプログラミング等に取り組みました。農業科コースに参加した生徒は、ブッセ作りを行いました。生徒たちは、高校の先生や高校生から専門的なアドバイスを受けながら、一所懸命に取り組みました。

今回の高校の専門学科での授業体験を、今後のキャリア教育の中で、１年後の進路選択や将来の職業選択について考える機会として生かしていきます。

なお、１２月６日（木）に１学年が塙工業高等学校の電子科と機械科で体験学習を行います。

1学年思春期講座

１１月９日（金）に１学年思春期講座を開催しました。

母子支援室「まごころ」の助産師、辺見さんを講師に迎え、お二人の妊婦の方のお腹に触れたり、赤ちゃんや幼児の世話をしたりする体験を通して、命を守り育てることの大切さについて学ぶことができました。

第２学年放課後の学習会

第２学年は各教科の基礎・基本の定着を目的に、希望者を対象に２回目の放課後の学習会を行っています。

今回は、期末テスト勉強を中心に、十分に理解できなかった所を個別に指導しています。家庭学習への接続により、家庭学習習慣の確立も目指します。

- ○１１月１４日（水）～１６日（金）期末テスト勉強
- ○１１月３０日（金）計算力テスト対策
- ○１２月１４日（金）スペリングコンテスト対策
- ○　２月　８日（金）英語・数学基礎基本対策

2学年郷土史野外学習講座

【割目遺跡】

【矢祭神社】

今年度から新たに、全学年の総合的な学習の時間で郷土学習を行っています。９月に第１学年が「郷土史野外学習講座」を実施し、矢祭町内の史跡を見学しました。

今週１４日（水）には、第２学年が同じく「郷土史野外学習講座」行い、「矢祭神社」、「割目遺跡」、「戸塚観音堂」、「義民の碑・慰霊碑」を訪ねました。今回も史跡の来歴等について矢祭町教育委員会の渡邉さんがご教授くださいました。

実際に目で見て学ぶことにより、矢祭町の歴史や伝統に関する興味関心が高まることが期待できます。

３学年は１１月２１日(水)に町の有識者を講師に迎えて「歴史学習講座」を実施します。

SNS・不審者対応防犯居教室

１５日（木）に、東館駐在所の巡査部長と矢祭町駐在所の巡査部長、棚倉警察署の生活安全課補導員を講師に迎え、不審者対応防犯訓練を行いました。

不審者に扮した警察官の迫真の演技により、生徒も教職員も緊張感をもって訓練に取り組むことができました。小野補導員からは、ＳＮＳ被害防止について、事例をもとに具体的にご指導いただきました。

今回の訓練で学んだことを、機会あるごとに指導し、被害の未然防止に努めていきます。特に、冬休み前には、学級、学年、学校で十分に指導を行います。

《校内へ侵入した不審者対応のポイント》

- ○　異変に気づいたらすぐに１１０番通報する。
- ○　警察官が到着するまで、複数の教職員で机、椅子などで防御しながら、不審者の行動を制御する。
- ○　その間に、生徒を安全な場所に避難させる。

《ＳＮＳ被害防止のポイント》

- ○　保護者が責任をもってフィルタリングをかける！
- ○　ＳＮＳで知り合った人と絶対に会わない！
- ○　『あとがこわい』６か条（※前号参照）を守る！
- ○　冬休み中、行先など親に嘘を言って、ＳＮＳで知り合った人と外出したり外泊したり、絶対しない！

第34回青少年の主張矢祭町大会参加

最優秀賞受賞作品

「差別をなくすために」
３年　金澤さん

みなさんは、「合理的配慮」という言葉を知っていますか。これは、障がいのある人が障がいのない人と平等に人権を享受できるようにしていくことです。現在日本には約３千６０万人の社会的援助を必要とする障がい者がいます。でも、すべての人が合理的配慮を受けているわけではありません。中には偏見の目で見られたり、避けられたりといった、差別を受けている人もいます。私は、こうした差別をなくすために、どのようなことができるか考えました。

４年前、私が小学校６年生の頃、学校の総合学習の一環として障がい者福祉施設に行きました。日常生活の中で、障がい者を見ることはあるけれど、実際に会話したり、一緒にスポーツをしたりするといった交流は初めての経験でした。私は、初めての経験の緊張からか、ずっとだまりこんでしまいました。そんな私をある障がい者の方が指先ほどの小さなものを見せてくれました。それは、車や機械の細かい部品でした。この施設では障がいを持っている人たちが一つ一つの手作業でねじなどを使ってたくさんの部品を生産する「仕事」を行っていたのです。私は、とても驚きました。なぜなら、その作業はとても難しく、手先をたくさん使用する仕事だったからです。にもかかわらず私が一つ仕上がる頃には、障がい者の方は、５個以上完成していました。私は、一生懸命文句一つ言わずに仕事に取り組む姿を見て、感心しました。そして、この時初めて障がいがあっても仕事をすることができることを知りました。

でも、多くの人が福祉施設に行って、障がい者の取り組みを見ることはできません。ですから、多くの人は外見だけの判断で障がい者のイメージを強く抱きがちです。

障がいの中でも、多くの割合を占めているのが発達障がいです。発達障がいとは、生まれつき脳機能の発達が不十分で、コミュニケーションの障がいや対人関係、社会生活に大きなストレスを抱いてしまうことがある障がいです。私は、障がいの影響で自分の本当の気持ちを隠してしまうこともあるけど、周りの人たちの接し方次第で、少しでも自分の考えや思いを社会に表現できるようになると思います。なぜなら、障がいがあってもこの世に一人の人間として生まれ、みんなと変わりないからです。一緒に話をしたり、行動したりすることで、一人一人の良さが見えてくると思います。

私は、これからの日本は、全ての国民が障がいの有無によって分け隔てされることなく、相互に人格と個性を尊重し、共生できる社会になっていくべきだと思います。そのためにも、たくさんの人とコミュニケーションをとり、お互いの良さを見つけ、様々な意見を社会に出すことができるようになることが必要だと思います。

周囲と違っていても、それを個性として尊重できるような社会になれば、たくさんの意見が暮らしに反映され、国民一人一人がより一層充実した生活を送れるようになると思います。私たちの生活は、障がいの有無に関わらず、たくさんの人たちに支えられています。その中でも、障がいがあっても仕事をしている方々の姿は、社会に大きな影響を与えていると思います。

差別は、障がい者だけでなく、外国人をはじめとするすべての人においてやってはならない行為です。すべての人が生まれながら持つ、自分らしく幸せに生きる権利である「人権」をどんな場合でも忘れることなく、当てはめていけるようにしたいと思います。そして、将来には、すべての人が笑顔で社会生活が送れるような日本になってほしいです。

【青少年の主張】　【英語弁論発表】

高信さん

山﨑さん

本田さん

高信さん

○最優秀賞　**金澤さん**「差別を無くすために」
○優秀賞　**高信さん**「誰もが気持ちよく過ごせる社会へ」
　　山﨑さん「将来の自分へ」

１１月１０日（土）に第３４回青少年の主張矢祭町大会が開催され、小・中・高校から優秀賞を受賞した１０名が発表しました。本校からは髙信さん、山﨑さん、金澤さんが参加しました。皆、自分の体験をもとに説得力のある主張を述べてくれました。審査の結果、金澤さんが見事、最優秀賞に輝きました。

青少年の主張発表の後、本田さんと高信さんが英語弁論発表を行いました。両名とも英語での表現を工夫し素晴らしいスピーチをしてくれました。

県縦断駅伝矢祭町チーム壮行会

今週水曜日に、１８日（日）に行われる県縦断駅伝競走大会の矢祭町チーム壮行会が開催されました。

本校からは１１名が参加します。矢祭町チームの皆さん、本校選手の皆さんの健闘と活躍を祈っています。

檜山さん（１区）、**緑川さん**（３区）、**古市さん**（３区）
本多さん（５区）、**鈴木さん**（７区）、**尾亦さん**（７区）
鈴木さん（８区）、**山中さん**（８区）、**本多さん**（９区）
塚田さん（11区）、**塚田さん**（15区）

来週の主な行事予定

19日（月）	朝	朝会	□期末テスト①～④（社・美・保体・音）
	給食	○	□職員会議　服務倫理委員会
	部活	×	
20日（火）	朝	朝読	□期末テスト①～④（理・国・英・数）
	給食	○	□家庭学習アンケート（帰りの短学活）
	部活	○	□体力づくり
21日（水）	朝	朝読	□3年歴史教育講演会
	給食	○	□体力づくり
	部活	○	□生徒会選挙立候補締切
22日（木）	朝	朝読	□体力づくり
	給食	○	□生徒会選挙立候補者集会
	部活	○	□ストーブ設置
			□歴史検定（16：00～ふれあい教室）
23日（金）	□サッカーフェスティバルライオンズ杯争奪サッカー大会（栃木県黒羽運動公園　※24日：23日結果による）		
24日（土）	□福島県中学校Sリーグ県南地区選抜大会（白坂の森）		
25日（日）	□福島県中学校Sリーグ県南地区選抜大会（白坂の森）		